

教 科	英語	科	科目	英語コミュニケーションⅠ	学年	第 1 学年	系列 コース	共通
単位数	3	単位	教科書	BLUE MARBLE English CommunicationⅠ（数研出版）				
副教材	英語総合問題集 Wonderland（いっずな書店） [改訂版] 音読英単語 入門編（Z-KAI） 総合英語 be Voyage to English Grammar 4th Edition（いっずな書店）							

1. 学習の到達目標

(1) 英文を読み、概要や要点を把握したり、論理展開を理解できる技能を身に付ける。
(2) それぞれの単元で学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりすることができる技能を身に付ける。
(3) 聞く・読む・話す[やりとり / 発表]・書くの4技能5領域の統合的な言語活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を養う。

2. 評価の観点

①知識・技能	新出語やKey Phrases、Key Languageの言語材料、本文の論理展開の理解を基に、文章を読み取る技能を身に付けている。また、本文の内容について、自分の考えを整理し、意見を話したり、書いたりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。また、本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり、書いたりしようとしている。また、自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、ターゲットとなる文法事項を使って、質問に答えたり、自分の意見を表現しようとしている。

3.学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容	
1 学 期	4月	1	Lesson 1	デジタル時代における友だちの作り方 S+V / S+V+C / S+V+O / S+V+O+O / S+V+O+C / There+V+S 音節とアクセント、フレーズリーディング、英語の語順Ⅰ(文型①)	
		2	Friendships in the Digital Age		
		3			
		4			
	5月	5		万博における日本の関わりと、未来の万博の役割 現在(過去)完了形・完了進行形 文のアクセント・イントネーション、パラグラフの構成、 動詞の形Ⅰ(時制)	
		6	Lesson 2		
		7	Expos: Past, Present, and Future		
		8			
		9			
	6月	10	Lesson 3	1人のアメリカ人女性を魅了した日本の伝統話芸の世界 be done / 助動詞を含む受動態(can be done / will be done) / used to do 英語のリズム、時間的順序・列挙、動詞の形Ⅱ(助動詞、態)	
		11	The Fascinating World of a		
		12	Professional Storyteller		
		13			
	7月	14	Lesson 4	人々の行動をよい方向に変えるための「仕掛け」とは 不定詞・動名詞・分詞 / seem to do / 使役動詞+O+do /S+V+O+to do 弱く発音される語(機能語)の変化、例示・追加、動詞の形Ⅲ(準動詞①)	
		15	Changing Behavior in Unique		
		16	Ways		
2 学 期	8月	17	Lesson 5	ルワンダ大虐殺を生き延びた1人の女性の物語 知覚動詞+O+do / 知覚動詞+O+doing / 知覚動詞・使役動詞+O+done / keep doing / S+V+O+if～ アクセントの基本ルール①(特殊語尾)、言い換え・要約、 英語の語順Ⅱ(文型②、準動詞②)	
		18			A Journey to Peace
	9月	19			
		20			
		21			
		22			
	10月	23	Lesson 6	「測る」という行為を通して人類の進化の歴史をひも解く 関係代名詞 who, which, whose / what+S+V / 関係代名詞の非制限 (継続)用法 / アクセントの基本ルール②(名[形]前動後)、 比較・対照、英語の語順Ⅲ(関係代名詞)	
		24	Humans Evolve with		
		25	Measurements		
		26			
		27	Lesson 7		
	11月	28	Bio-logging: Discovering Animals'	野生動物の秘密に迫る「バイオリギング」 関係副詞 when / where / why / how 音の連結(リエゾン)、事実と意見の区別、英語の語順Ⅳ(関係副詞)	
		29	Secrets		
		30			
		31	Lesson 8		
	12月	32	What to Do with Too Many	「オーバーツーリズム」とは何か、そしてその解決策を考える 仮定法過去 / 仮定法過去完了 / I wish ～ / as if ～ 音の脱落(リダクション)、原因と結果、動詞の形Ⅳ(仮定法)	
33		Tourists			
34					
3 学 期	1月	35	Lesson 9	玉石混交の膨大な情報から真実にたどり着くために何をすべきか	
		36	Surviving in the Information Age		
		37			
		38			
	2月	39	Lesson 10	「禅」の精神とは何か、そして現代の世界に与えた影響とは	
		40	The Spirit of <i>Zen</i> : Less Is More		
		41			
		42			
	3月	43	Optional Lesson 1 (物語)	大学生ブルースが祖父と過ごしたひと夏の思い出 広告の間違いから始まった、ユーモアあふれるストーリー	
		44	Optional Lesson 2 (講談)		
		45			

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて、言語活動、課題学習、授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点(①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。